



# 市民復興トラストによる被災地支援

～仕事作りを応援トラスト！～

市民復興トラスト実務責任者：中原知里

# プロフィール

中原知里（23）

地域維新グループ/田舎会社東京支店代表

（経歴）

- 2008年 大学在学中に、地域維新グループにてインターン  
地域維新グループ内に、田舎会社東京支店立ち上げ。  
規格外の農産物の販売等を行う。
- 2010年 慶應義塾大学卒業後、地域維新グループスタッフ。
- 2011年 震災後、市民復興トラスト企画運営。

# 第3世界ショップ

1986年～

フェアトレード事業を行う。

現在は、数10カ国のパートナーと取引を行う。国内では500以上のショップをネットワーク。

# 田舎会社

2005年～

国内に目を向けたコミュニティ・トレードを推進。島根県で旅館の後継創業なども行う。

# 地域維新グループ

## WWB / ジャパン

1990年～

女性を対象にした起業支援を行う。

現在は、女性に限定せず、コミュニティビジネスを行う幅広い起業家を支援。1000人以上の起業家を育成。

## 市民バンク

1989年～

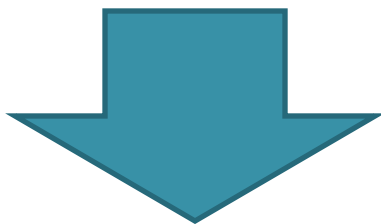
夢を担保に無担保の融資を行う。貸出件数147件、総額6億以上、貸し倒れがないという実績。

# 東北大震災で繋がるネットワーク

各団体のこれまでの繋がり  
の輪

→ 震災を契機に各方面へ緊急連絡

→ 無事の確認が取れ、安堵の一方で悲惨な現場を知る



一体、私達には何ができるのか？

# 緊急支援物資：直接定期便

## 直接定期便を3月20日に開始

→ 山口県から関西、北陸、関東、日本海側経由して  
被災地である岩手県へ



初回は、ココナッツ炭団、他衛生消耗品などの  
救援物資を届け、合計9回行った。



# 被災地を知る . . .

直接定期便を行う中で、

被災地の実情を知る。



これから必要なものは  
何なのか？



# 市民復興トラスト

これからは「仕事作り」を行うことが早急に必要ということで、「仕事作りを応援する市民復興トラスト」開始

## 1. 仕事を再建！

できあがったら海産加工品を送ります。

## 2. リサイクル編み物で 生きがい作り！

できあがったらニット製品送ります。

※他にも、全部で11個のトラストを実施

# 1. 仕事を再建

できあがったら農産加工品を送ります。



岩手県洋野町種市 庭静子さん（61歳）

レストラン「種市ふるさと物産館 はまなす亭」を経営

【震災】

津波によって店の1階部分は、ほぼ全壊。

【震災直後】

震災直前に始められており、津波の難を逃れた直売所の屋台にて、震災3日後から、ひとまずお店を再開。

【新たな仕事へ】

津波の影響がなかったご自宅の離れを加工所に改装できれば、従業員5名の雇用の確保も含めた事業を再び始められる！という思い。

【市民復興トラストへ】

出来たら送ってね便をスタート



# 「出来たら送ってね便」

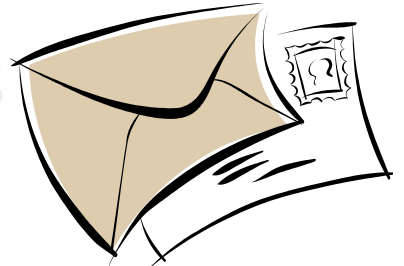
- 加工場を作るためのお金を応援したいという方を募集
- 1口5万円：  
目標は加工所を作るために必要な200万円
- 応援者には、加工所改築後、商品が出来次第、順次5万円分の商品を発送。日時は未定で、出来たら送ってね！という条件。

**5日間で200万円の支援金が集まる！**



支援復興プロジェクトと、現地に行った際の報告をしている当日の様子

# 庭さんよりメッセージ



- この度は皆さんに本当にご心配をいただいております。
- 「種市ふるさと物産館」の庭静子です。この震災の前には種市の浜辺でレストランや物産をしていました。13年目の今、こういう状況になってしまいましたが、人と人とのつながりはすごいなと感じています。かつてレストランでは、ホヤ飯をはじめとするホヤづくしというコース料理を出しておりました。目の前の海の魚なども加工していました。最初に出逢った時に、奥谷さんにとにかく種市に来ていただきたいと言ったのが縁で今に至るのですが、素直に来てくださったのにびっくりいたしました。それでこんな風に応援していただけるとは夢にも思いませんでした。実際にお金をいただいてもどうすればいいのか、プレッシャーがないわけではありません。応援してくださった皆さんには、本当にアドバイスな

# 庭さんのトラストの輪



9日に行われた第1回被災地応援報告会の様子



大好評だった「ほやラーメン」



庭さんから今が旬の生ういが届きました



自宅の離れに完成した庭さんの加工所



庭さんの加工所の中の様子

# 応援者からの声とそこから見えるトラスト

- 自分が支援したものがどのように使われているのか明確な部分に共感
- 顔の見える関係があることへの信頼
- 庭さん自身のキャラクターへの後押し



## ● トラストのポイント ●

- 透明性をもって伝えていくこと
- 内容を開示していくこと
- 関わる人が常に直面した問題を解決しつつ展開していくこと

# イスラム金融ムラバハの仕組み

庭さんのトラストは、イスラム金融のムラバハという金融の仕組みを使ったものです。

## 『ムラバハ（商品売買契約）』

- ①商品の買い手と売り手（銀行の顧客）との間に購買契約を結ぶ。  
その時に銀行も介在して銀行＝買い手間、銀行＝売り手の価格設定をしておく。
- ②買い手の代わりに銀行が商品代金を支払っておく。結果、前払いになるので起業家は安心して事業化を進められる。フェアトレードが途上国の生産者に前払いすることで原材料の用意を容易にすることと同じ思想で、強者がすすんでシェアする仕組みである。
- ③商品を買い手に届ける
- ④商品の買い手から代金を回収する。

## ●私達のトラストのポイント●

自立復旧の為に速やかに仕事を作る

用途の明確性

予約の先払いにおける事務局のリスク分散

# トラスト 1 万件で 5 万人の仕事作りへ

- 政府の「復旧事業等による確実な雇用創出」

資金：2兆5440億円

雇用：20万人

市民復興トラスト

資金：200億

雇用：5万人

※庭さんのトラストでは5人の雇用に成功

5人×1万件分のトラスト=5万人

1件200万円×1万件分のトラスト=200億



つまり、市民復興トラストが全国各地で行うことができれば、20万人の雇用に800億、政府予算のわずか30分の1で済む。

## 2. リサイクルと編み物で 生きがい作り！

できあがったらニット製品送ります。

- 福島県大隈町 渡辺恵美子さん

7人家族のお母さんで、震災前は、経理の仕事を行っていた。

【震災】

原発から7kmの場所に住んでおり、緊急避難。

【震災直後】

西へ西へと避難場所を転々とし、会津若松の温泉街へ。この温泉街では、くつろぎ旅館新滝の女将佐原香織さんの力によって、地域全体で2000人の避難民を受け入れている。

【生きがいを作る仕事へ】

庭さんのように事業を再建する人がいる一方で、仕事を失い、孤立し、ノイローゼになったり、自殺をする人が増えていた。そこで、生きがいや励みとなる仕事を作る必要性。

【市民復興トラストへ】

リサイクルと編み物で生きがい事業トラストをスタート

# リサイクルと編み物で生きがい事業トラス

メニュー1)

着なくなった秋冬者のベビーアルパカのセーター・ベストの提供者募集

→仕事を作るための材料をリサイクルで呼びかけ

メニュー2)

1口3万円で、リサイクル毛糸を使った商品をご購入下さる方を募集

→購入予約のトラス

メニュー3)

リサイクル毛糸を使った編み手さん募集

→編むことでの癒しを得つつ、それが仕事となる

編み手さんとして8名の方が、避難所の東山温泉に集まり、毛糸は段ボールの山が出来るほどに集まりました。



福島県の避難先にて講座を開催。時におしゃべりも中断し、真剣そのものです



私たちの活動のお知らせがレストランやエレベーターに張り出されていました



# 三園さんのトラストの輪



講座で皆さんにつなぎ合わせの指導をしているデザイナーの三園さん



配色やつなぎ合わせについて三園さんのアトリエで事前にチェック。糸の細さによって編み棒の号数を変えるなど、細かい調整を行いました



久々に編み物をして、皆さん懐かしく思われたようです



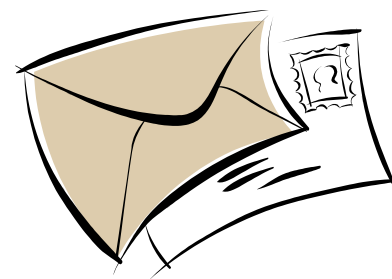
80代の女性も「この2日がとても楽しかったの!」と、かつて編んだ素敵なサマーカーディガンを着て参加!



手前が渡辺さん。趣味だっただけあり、少しの時間であっという間に1枚目の半分まで仕上げていました

# ニットデザイナー三園さんからのメッセージ

- 数時間前に岩手宮古より戻って来ました。  
たくさんの被災された編み手さんに出会い、皆さん本当に楽しそうに編み物している姿を見て、とても嬉しかったです。  
帰り際にはプレゼントいただいたり、皆さんにとっても感謝されました。  
本当にこういう支援を待っていたようですね。  
私も実際被災地や避難所を訪れて、そこで生活している人たちの不憫さを目の辺りにし、やはり衝撃的でした。
- これがいつまで長引くのだろうか。。。  
ほんの少しですが、自分の支援が役に立つのなら、一緒に頑張っていこうと思いました。
- では、また来週末の宮古出張に向けて準備がんばります。  
よろしくお願いします。

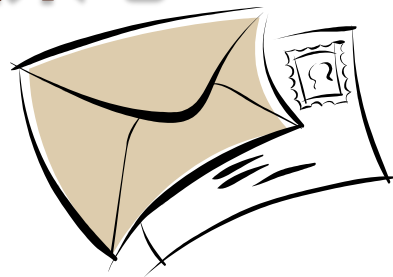


今後自宅でもできるように、個別指導をする三園さん

## ● 三園麻絵さん（ニットデザイナー）

WWBスクール受講時から「編み物には癒しの力があると思う。日々に追われている人や何か悩みを抱えている人たち、特に若い方の心のサポートに役立つような起業がしたい」と言っていた三園さんの想いをヒントに、被災地で不安を抱える方々の生きがい創りを目指すこのプロジェクトが始動。

# 会津若松東山温泉くつろぎ宿新滝 の女将佐原さんのメッセージ



- 「すでに買い手が決まっている」ことは編み手側の創作意欲も高まりますよね！しかも、このような取り組みに賛同してくれる方がいらっしゃるということにも感動します。こういった流れの取り組みは「フェアトレード」というらしく、世界各地で行われているそうです。日本での先駆けは、ほかならぬ「第3世界ショップ」さんであることがHPを見て発覚！！
- すべてのことに感動します。
- 一寸法師じゃないけど小さなお店は
- 大きな心と行動力を持ち合わせていました。

# 不安解決のアソシエーション

- これからの時代、いつ何が起こるのかわからない不安が蓄積されていく。



- 新しい働き方の提案
- 大きいことをお金をかけてやるのではなく、小さい規模で連携。
- 関わる人が広めて、作りあげていく仕事の循環
- 仕事＝生きがい＝共感の輪

→利益・効率化のビジネスから不安解決(問題解決)型のビジネスへのシフト

# 最後に

## 【被災地への復興支援の推移】

- 日ごろからの多方面で小さな繋がりの構築
- 緊急性を持ち、直接の支援  
(=直接定期便)
- 直接現場を見て、復興への足がけとなる支援策  
(=ムラバハ)
- 復興に向けての課題を解決していく支援策  
(=不安解決型のアソシエーション)
- 新たな生き方の提案を自らのリスクで創出  
(=第二近代への移行)  
(EX.自給クラブ、備蓄 etc . . .)